公立大学法人名古屋市立大学 環境報告書 2017

3.環境マネジメントシステム及び推進体制

(1)環境マネジメントシステム

組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取り組みを進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境マネジメント」といい、このための事業所内の体制・手続き等の仕組みを「環境マネジメントシステム」といいます。

本学では、環境への取り組みを進めるにあたり、環境憲章で定めた基本 y 憲イフには基のる」 y 憲イム媛憲 メハトには舌 锨 あたり

基本方針 2

学生の学内、地域社会、国内外における環境保全活動への自主的な 参画・取り組みに対して積極的に支援していく。

アクションプラン (平成 27~29 年度)

学生が課外活動等の一環として行う自主的な環境に関する取組みに対して、支援を行う。

平成 29



環境負荷低減のために、環境マネジメントシステムに沿って行動計

基本方針5

取り組み状況

[B 鱼 í 戮术 ú 舌 祾 与 犜 生 豈

- 3 水道使用量

29 年度の水道 (上水)使用量は、約 305 千㎡となり、対前年度比で約 24 千㎡、

省エネ推進奨励事業の実施

平成 26 年度に各部局の省エネルギー・省資源推進への取組を奨励するため、省エネ改修工事等の提案を募集し、工事等を実施する省エネ推進奨励事業を実施しました。

その結果、「照明などの単位時間当たりの電気料金

(2)その他の取り組み状況

基本方針 6

物品調達に際してグリーン購入の推進を図るとともに、設備・機材等の利用にあたって廃棄物の減量化とリサイクル資源の活用を推進していく。

基本方針7

(5)名古屋市立大学病院の取組み

名古屋市立大学病院は、地上 17 階、地下 2 階建の病棟・中央診療棟、及び、外来診療棟、東棟、西棟からなる大学病院です。特定機能病院、災害拠点病院等、多くの承認を受けており、名古屋都市圏の中核医療機関として、皆さんの健康と福祉に貢献することを使命としています。高度先進医療を提供し療養環境を向上させるための最新の医療設備の整備、手術件数や救急受入件数の増加により、年々、環境に負荷をかける度合いが大きく

【参考資料】公立大学法人名古屋市立大学の概要

名古屋市立大学は、7 学部、7研究科、附属病院、図書館等を持つ公立大学法人です。 総合大学として、様々な分野における教育・研究活動を実施しています。

- **法人名** 公立大学法人名古屋市立大学
- 所在地及び敷地面積

(平成30年3月31日現在)

キャンパス	住所	敷地面積